

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信 特化型	
信託期間	2022年12月22日〔当初、2025年7月14日〕まで（2015年8月21日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）毎月決算型	アジア・リート・マスター・ファンド（JPYクラス）受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	アジア・リート・マスター・ファンド（JPYクラス）	シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と値上がり益の獲得を目指します。</li> <li>シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の不動産投資信託（リート）等に投資を行い（以下、不動産投資信託（リート）等の通貨のことを「原資産通貨」といいます。）、保有する原資産通貨について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。</li> </ul>	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>投資信託証券（上記の受益証券をいいます。）への投資割合には制限を設けません。</li> <li>1発行体等あたりの当ファンドの純資産総額に対する比率は、原則として、25%以内とします。</li> </ul>	
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

◆当ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度\*が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。

\*寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

◆当ファンドは、日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に実質的に投資します。当ファンドの投資対象には支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

## 償還報告書（全体版）

〔繰上償還〕

アジアリート戦略オープン  
（為替ヘッジあり）毎月決算型

愛称：アジアンストリート

第81期（決算日：2022年8月15日）

第82期（決算日：2022年9月13日）

第83期（決算日：2022年10月13日）

第84期（決算日：2022年11月14日）

第85期（決算日：2022年12月13日）

信託終了日：2022年12月22日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）毎月決算型」は、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、12月22日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル 0120-151034  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## ファンドマネージャーのコメント

### 【運用のポイント】

設定来の運用で主眼に置いたポイントをご説明させていただきます。

### （運用の状況）

信託期間を通じて、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（JPYクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

組み入れる原資産通貨に対して、原資産通貨を実質的に円建となるように原資産通貨売り／円買いの為替取引により対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。

信託期間中の運用では、主としてシンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資し、配当利回りなどの面で相対的に投資妙味が高いと思われる銘柄を中心に投資しました。

設定来の市況については、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気減速懸念、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化やインフレ懸念の高まりなどを嫌気して軟調となる局面もありましたが、新型コロナウイルスのワクチン開発やワクチンの世界的普及などに加え、各国金融当局による金融緩和などを好感し、アジア・リート市況は上昇しました。

（注）上記は、アジア・リート・マスター・ファンドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

### 【設定来の運用結果】

償還価額は設定時に比べ11.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

### 【償還価額】

償還価額は、9,654円48銭となりました。

### 【分配金】

収益分配金につきましては、信託期間中、累計で1,680円の分配を行わせていただきました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド  
アジア・グロース株式チーム  
ポートフォリオ・マネジャー  
カテリーナ・イルワン

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 組	券 入 比	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落						
	円 銭		円	%		%	%	%	百万円	
57期(2020年8月13日)	11,156		20	△ 0.8		—	—	99.0	53	
58期(2020年9月14日)	11,242		20	1.0		—	—	99.0	54	
59期(2020年10月13日)	11,111		20	△ 1.0		—	—	99.0	53	
60期(2020年11月13日)	11,234		20	1.3		—	—	99.0	53	
61期(2020年12月14日)	11,410		20	1.7		—	—	99.0	55	
62期(2021年1月13日)	11,751		20	3.2		—	—	99.0	57	
63期(2021年2月15日)	11,449		20	△ 2.4		—	—	99.0	56	
64期(2021年3月15日)	11,413		20	△ 0.1		—	—	99.0	56	
65期(2021年4月13日)	11,688		20	2.6		—	—	99.0	56	
66期(2021年5月13日)	11,703		20	0.3		—	—	99.0	56	
67期(2021年6月14日)	12,040		20	3.1		—	—	99.0	58	
68期(2021年7月13日)	12,225		20	1.7		—	—	99.0	59	
69期(2021年8月13日)	12,158		20	△ 0.4		—	—	99.0	60	
70期(2021年9月13日)	11,948		20	△ 1.6		—	—	99.0	59	
71期(2021年10月13日)	11,586		20	△ 2.9		—	—	99.0	57	
72期(2021年11月15日)	11,928		20	3.1		—	—	99.0	55	
73期(2021年12月13日)	11,609		20	△ 2.5		—	—	99.0	54	
74期(2022年1月13日)	11,380		20	△ 1.8		—	—	99.0	51	
75期(2022年2月14日)	11,391		20	0.3		—	—	99.0	52	
76期(2022年3月14日)	11,217		20	△ 1.4		—	—	99.0	51	
77期(2022年4月13日)	11,476		20	2.5		—	—	96.8	44	
78期(2022年5月13日)	10,850		20	△ 5.3		—	—	99.0	41	
79期(2022年6月13日)	11,129		20	2.8		—	—	99.0	42	
80期(2022年7月13日)	10,805		20	△ 2.7		—	—	99.1	43	
81期(2022年8月15日)	11,203		20	3.9		—	—	99.0	44	
82期(2022年9月13日)	10,809		20	△ 3.3		—	—	99.1	43	
83期(2022年10月13日)	9,427		20	△12.6		—	—	99.0	38	
84期(2022年11月14日)	9,066		20	△ 3.6		—	—	99.0	32	
85期(2022年12月13日)	9,473		0	4.5		—	—	99.0	33	
(償還時)	(償還価額)									
86期(2022年12月22日)	9,654.48		—	1.9		—	—	—	33	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	投 資 信 託 券 率
			騰	落						
第81期	(期首) 2022年7月13日	円 銭 10,805		% -		% -		% -		% 99.1
	7月末	11,074		2.5		-		-		99.0
	(期末) 2022年8月15日	11,223		3.9		-		-		99.0
第82期	(期首) 2022年8月15日	11,203		-		-		-		99.0
	8月末	10,727		△ 4.2		-		-		99.0
	(期末) 2022年9月13日	10,829		△ 3.3		-		-		99.1
第83期	(期首) 2022年9月13日	10,809		-		-		-		99.1
	9月末	9,639		△10.8		-		-		99.0
	(期末) 2022年10月13日	9,447		△12.6		-		-		99.0
第84期	(期首) 2022年10月13日	9,427		-		-		-		99.0
	10月末	9,095		△ 3.5		-		-		99.0
	(期末) 2022年11月14日	9,086		△ 3.6		-		-		99.0
第85期	(期首) 2022年11月14日	9,066		-		-		-		99.0
	11月末	9,541		5.2		-		-		99.0
	(期末) 2022年12月13日	9,473		4.5		-		-		99.0
第86期	(期首) 2022年12月13日	9,473		-		-		-		99.0
	(償還時) 2022年12月22日	(償還価額) 9,654.48		1.9		-		-		-

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

# 運用経過

第1期～第86期：2015年8月21日～2022年12月22日

## ▶ 設定来の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第86期末	9,654.48円
既払分配金	1,680円
騰落率	11.5%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ11.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

シンガポールリート及び香港リートの価格が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

個別銘柄では、アジア・リート市場で時価総額最大級のリート銘柄である「LINK REIT（香港）」の上昇や、シンガポールやオーストラリアなどで産業用施設やビジネスパークなどを手掛ける「CAPITALAND ASCENDAS REIT（シンガポール）」の上昇などがプラスに寄与しました。

### 下落要因

原資産通貨\*売り／円買いの為替ヘッジコスト（金利差相当分の費用）が、基準価額の下落要因となりました。

\*投資を行うリート等の通貨を「原資産通貨」といいます。以下同じ。

第1期～第86期：2015年8月21日～2022年12月22日

## 投資環境について

### ▶ アジア・リート市況 アジア・リート市況は、設定時に比べ上昇しました。

シンガポール市況は、設定時に比べ上昇しました。設定時から2015年末にかけては、中国の景気減速への警戒感などから上値の重たい展開となりました。その後は、2019年末にかけて米金融当局による利上げペースが速まるとの観測から、各国の長期金利が上昇したことなどを嫌気する局面がありましたが、オフィス不動産を中心に実物不動産市場の事業環境が改善したことや、大手リートの業績改善期待が高まったことなどを好感し上昇しました。2020年2月中旬から3月下旬にかけては、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受けて世界経済の減速懸念が高まり、金融市場への不透明感が強まる中、下落したものの、その後は、新型コロナウイルスのワクチン開発やワクチンの世界的普及などに加え、各国金融当局による金融緩和などを好感し上昇しました。2022年以降は、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化やインフレ懸念の高まりなどを背景に米金融当局を中心とした急速な金融引き締めを受けて、下落したものの、設定来でみるとシンガポール市況は上昇しました。不動産用途別では、産業用施設が、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けにくく、電子商取引

（eコマース）の拡大などが事業環境の支援材料になったことなどに加えて、金利感応度が高く、2019年から2020年半ばにかけての低金利環境を好感し、上昇しました。

香港市況は、設定時に比べ上昇しました。設定時から2015年末にかけては、中国の景気減速への警戒感などから上値の重たい展開となりました。その後は、2019年半ばにかけて自国の長期金利の上昇や米中貿易摩擦などを嫌気する局面がありましたが、香港の大手小売りリートの安定的な業績内容などが好感され上昇しました。2019年半ばから2020年後半にかけては、香港の逃亡犯条例を巡る抗議デモに加え、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受けて世界経済の減速懸念が高まり、金融市場への不透明感が強まる中、下落したものの、その後は、新型コロナウイルスのワクチン開発やワクチンの世界的普及などを好感し上昇しました。2021年後半以降は、中国不動産大手の債務問題や中国当局の規制強化に加え、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化やインフレ懸念の高まりなどを背景に米金融当局を中心とした急速な金融引き締めなどを受けて投資家心理が悪化し、下落したものの、設定来でみると香港市況は上昇しました。

## ▶ 国内短期金融市場

**コール・レート（無担保・翌日物）は0%前後で推移しました。**

設定時から2016年1月までのコール・レートは、日銀による金融緩和政策の影響を受けて、おおむね0.1%を下回る水準で推移しました。2016年2月のマイナス金利の適用開始以降は、おおむねマイナス圏での推移となり、足下のコール・レートは-0.065%となりました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）毎月決算型

信託期間を通じて、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（JPYクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

最終作成期（2022年7月14日～信託終了日）は、前記の運用を維持し、繰上償還に向けて、2022年12月中旬から下旬にかけてアジア・リート・マスター・ファンド（JPYクラス）受益証券、マネー・プール マザーファンド受益証券の組み入れ比率を0にしました。

### ▶ アジア・リート・マスター・ファンド（JPYクラス）

信託期間を通じて、主としてシンガポー

ル・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資しました。

国債利回りと比較して、配当利回りに妙味があると判断した銘柄を中心に投資を行いました。

組み入れる原資産通貨に対して、原資産通貨を実質的に円建となるように原資産通貨売り／円買いの為替取引により対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。

### ▶ マネー・プール マザーファンド

信託期間を通じて、コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、第1期から第84期までは各20円の分配とし、信託期間中、累計で1,680円の分配を行わせていただきました。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項目	第81期 2022年7月14日～ 2022年8月15日	第82期 2022年8月16日～ 2022年9月13日	第83期 2022年9月14日～ 2022年10月13日	第84期 2022年10月14日～ 2022年11月14日	第85期 2022年11月15日～ 2022年12月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 (0.178%)	20 (0.185%)	20 (0.212%)	20 (0.220%)	— (—%)
当期の収益	20	20	18	16	—
当期の収益以外	—	—	1	3	—
翌期繰越分配対象額	5,829	5,833	5,831	5,828	5,855

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 償還価額

### ▶ アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）毎月決算型

償還価額は、9,654円48銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

2022年7月14日～2022年12月22日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第81期～第86期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	56	0.552	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(17)	(0.171)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(37)	(0.366)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.015)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.005	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	56	0.557	

作成期中の平均基準価額は、10,076円です。

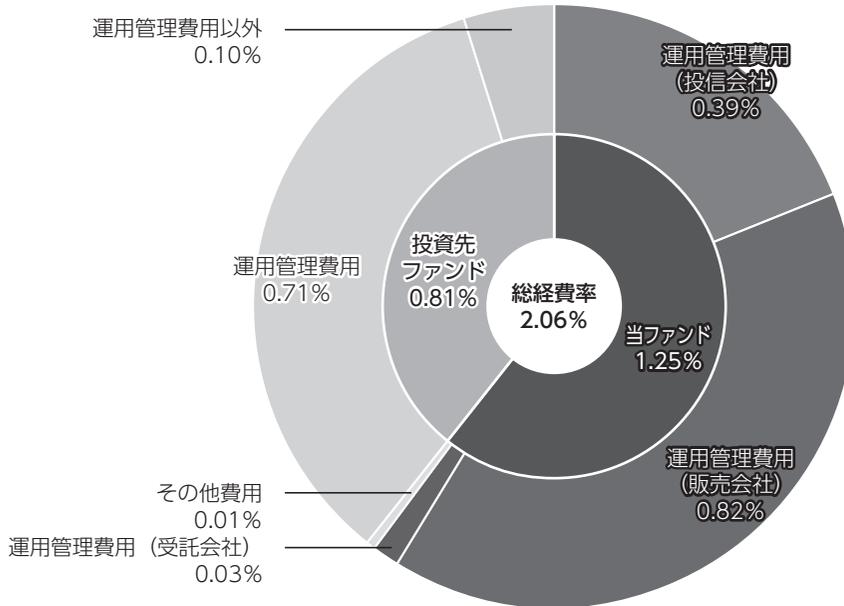
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.06%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.06
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.25
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.71
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.10

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年7月14日～2022年12月22日)

## 投資信託証券

銘柄		第81期～第86期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	アジア・リート・マスター・ファンド (JPYクラス)	千口 2,714	千円 1,560	千口 73,409	千円 39,284

(注) 金額は受渡代金。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第81期～第86期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
マネー・プール	マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 9	千円 9

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年7月14日～2022年12月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2022年12月22日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第80期末	
		口数	金額
	アジア・リート・マスター・ファンド (JPYクラス)	千口 70,694	千円 70,694
	合 計	70,694	70,694

親投資信託残高

銘	柄	第80期末	
		口	数
マネー・プール	マザーファンド		千口
			9

○投資信託財産の構成

(2022年12月22日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
		千円	%
	コール・ローン等、その他	33,671	100.0
	投資信託財産総額	33,671	100.0

○資産、負債、元本及び基準(償還)価額の状況

項	目	第81期末	第82期末	第83期末	第84期末	第85期末	償 還 時
		2022年8月15日現在	2022年9月13日現在	2022年10月13日現在	2022年11月14日現在	2022年12月13日現在	
		円	円	円	円	円	円
(A)	資産	44,748,007	43,485,284	38,314,243	32,469,896	33,062,219	33,671,140
	コール・ローン等	561,923	534,602	567,376	423,222	350,293	33,671,140
	投資信託受益証券(評価額)	44,166,094	42,930,692	37,736,878	32,036,685	32,691,938	—
	マネー・プール マザーファンド(評価額)	9,990	9,990	9,989	9,989	9,988	—
	未収入金	10,000	10,000	—	—	10,000	—
(B)	負債	129,410	163,319	183,091	109,082	33,285	10,449
	未払金	—	40,000	60,000	—	—	—
	未払収益分配金	79,657	80,156	80,898	71,392	—	—
	未払信託報酬	49,323	42,796	41,833	37,369	33,002	10,290
	未払利息	—	—	—	—	—	70
	その他未払費用	430	367	360	321	283	89
(C)	純資産総額(A-B)	44,618,597	43,321,965	38,131,152	32,360,814	33,028,934	33,660,691
	元本	39,828,733	40,078,457	40,449,039	35,696,011	34,865,370	34,865,370
	次期繰越損益金	4,789,864	3,243,508	△ 2,317,887	△ 3,335,197	△ 1,836,436	—
	償還差損金	—	—	—	—	—	△ 1,204,679
(D)	受益権総口数	39,828,733口	40,078,457口	40,449,039口	35,696,011口	34,865,370口	34,865,370口
	1万口当たり基準価額(C/D)	11,203円	10,809円	9,427円	9,066円	9,473円	—
	1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	—	—	—	9,654円48銭

○損益の状況

項 目	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期
	2022年7月14日～ 2022年8月15日	2022年8月16日～ 2022年9月13日	2022年9月14日～ 2022年10月13日	2022年10月14日～ 2022年11月14日	2022年11月15日～ 2022年12月13日	2022年12月14日～ 2022年12月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	161,622	136,268	117,032	96,349	98,834	△ 215
受取配当金	161,622	136,270	117,038	96,386	98,844	—
支払利息	—	△ 2	△ 6	△ 37	△ 10	△ 215
(B) 有価証券売買損益	1,551,835	△ 1,581,672	△ 5,560,853	△ 1,276,937	1,355,603	642,351
売買益	1,993,066	—	—	601,973	1,872,816	642,351
売買損	△ 441,231	△ 1,581,672	△ 5,560,853	△ 1,878,910	△ 517,213	—
(C) 信託報酬等	△ 49,753	△ 43,163	△ 42,193	△ 37,690	△ 33,285	△ 10,379
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,663,704	△ 1,488,567	△ 5,486,014	△ 1,218,278	1,421,152	631,757
(E) 前期繰越損益金	△ 2,168,384	△ 584,337	△ 2,153,060	△ 6,808,541	△ 7,905,672	△ 6,484,520
(F) 追加信託差損益金	5,374,201	5,396,568	5,402,085	4,763,014	4,648,084	4,648,084
(配当等相当額)	( 11,739,091)	( 11,884,829)	( 12,101,333)	( 10,685,785)	( 10,442,234)	( 10,442,234)
(売買損益相当額)	(△ 6,364,890)	(△ 6,488,261)	(△ 6,699,248)	(△ 5,922,771)	(△ 5,794,150)	(△ 5,794,150)
(G) 計(D+E+F)	4,869,521	3,323,664	△ 2,236,989	△ 3,263,805	△ 1,836,436	—
(H) 収益分配金	△ 79,657	△ 80,156	△ 80,898	△ 71,392	0	—
次期繰越損益金(G+H)	4,789,864	3,243,508	△ 2,317,887	△ 3,335,197	△ 1,836,436	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	—	—	—	—	△ 1,204,679
追加信託差損益金	5,374,201	5,396,568	5,402,085	4,763,014	4,648,084	—
(配当等相当額)	( 11,739,091)	( 11,884,829)	( 12,101,333)	( 10,685,785)	( 10,442,234)	( —)
(売買損益相当額)	(△ 6,364,890)	(△ 6,488,261)	(△ 6,699,248)	(△ 5,922,771)	(△ 5,794,150)	( —)
分配準備積立金	11,480,365	11,493,314	11,487,255	10,118,320	9,974,322	—
繰越損益金	△12,064,702	△13,646,374	△19,207,227	△18,216,531	△16,458,842	—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 40,014,391円  
 作成期中追加設定元本額 943,508円  
 作成期中一部解約元本額 6,092,529円

また、1口当たり純資産額は、作成期末0.965448円です。

- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,204,679円です。

③分配金の計算過程

項 目	2022年7月14日～ 2022年8月15日	2022年8月16日～ 2022年9月13日	2022年9月14日～ 2022年10月13日	2022年10月14日～ 2022年11月14日	2022年11月15日～ 2022年12月13日
費用控除後の配当等収益額	156,930円	93,105円	74,839円	58,659円	96,571円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	11,739,091円	11,884,829円	12,101,333円	10,685,785円	10,442,234円
分配準備積立金額	11,403,092円	11,480,365円	11,493,314円	10,131,053円	9,877,751円
当ファンドの分配対象収益額	23,299,113円	23,458,299円	23,669,486円	20,875,497円	20,416,556円
1万口当たり収益分配対象額	5,849円	5,853円	5,851円	5,848円	5,855円
1万口当たり分配金額	20円	20円	20円	20円	—円
収益分配金金額	79,657円	80,156円	80,898円	71,392円	—円

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2015年8月21日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年12月22日		資産総額	33,671,140円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	10,449円
				純資産総額	33,660,691円
受益権口数	38,222,984口	34,865,370口	△3,357,614口	受益権口数	34,865,370口
元本額	38,222,984円	34,865,370円	△3,357,614円	1万口当たり償還金	9,654円48銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	114,074,438円	115,682,593円	10,141円	20円	0.2%
第2期	114,080,958	112,541,055	9,865	20	0.2
第3期	114,089,354	113,434,244	9,943	20	0.2
第4期	94,097,526	97,710,190	10,384	20	0.2
第5期	85,083,673	89,753,602	10,549	20	0.2
第6期	83,385,253	88,538,950	10,618	20	0.2
第7期	81,772,111	87,639,051	10,717	20	0.2
第8期	81,778,330	92,981,915	11,370	20	0.2
第9期	72,377,413	82,411,051	11,386	20	0.2
第10期	123,992,343	143,672,478	11,587	20	0.2
第11期	220,574,057	245,690,298	11,139	20	0.2
第12期	257,906,597	281,696,724	10,922	20	0.2
第13期	249,627,609	267,919,559	10,733	20	0.2
第14期	254,680,594	272,794,192	10,711	20	0.2
第15期	233,422,193	255,720,221	10,955	20	0.2
第16期	212,361,394	227,423,453	10,709	20	0.2
第17期	202,469,506	226,808,550	11,202	20	0.2
第18期	225,767,238	257,186,638	11,392	20	0.2
第19期	240,640,809	282,907,331	11,756	20	0.2
第20期	204,380,135	239,875,829	11,737	20	0.2
第21期	185,294,170	223,399,721	12,056	20	0.2
第22期	168,188,504	203,795,403	12,117	20	0.2
第23期	131,287,900	158,006,748	12,035	20	0.2
第24期	114,205,019	141,707,972	12,408	20	0.2
第25期	106,693,705	135,711,472	12,720	20	0.2
第26期	106,315,089	137,585,569	12,941	20	0.2
第27期	104,146,533	125,528,784	12,053	20	0.2
第28期	104,066,699	128,100,609	12,309	20	0.2
第29期	101,599,636	124,205,235	12,225	20	0.2
第30期	101,621,497	124,250,195	12,227	20	0.2
第31期	101,441,090	123,286,708	12,154	20	0.2

アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）毎月決算型

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第32期	101,366,820円	123,951,042円	12,228円	20円	0.2%
第33期	93,140,624	114,848,193	12,331	20	0.2
第34期	92,743,517	113,149,643	12,200	20	0.2
第35期	92,766,231	108,153,648	11,659	20	0.2
第36期	92,792,116	108,514,808	11,694	20	0.2
第37期	92,834,079	112,575,577	12,127	20	0.2
第38期	93,665,379	115,316,633	12,312	20	0.2
第39期	94,485,402	121,053,869	12,812	20	0.2
第40期	81,458,407	106,944,150	13,129	20	0.2
第41期	81,553,863	108,194,716	13,267	20	0.2
第42期	81,662,800	108,102,320	13,238	20	0.2
第43期	52,640,682	71,520,279	13,587	20	0.2
第44期	52,668,395	73,755,376	14,004	20	0.2
第45期	52,769,354	71,293,024	13,510	20	0.2
第46期	52,671,848	71,505,924	13,576	20	0.2
第47期	52,344,739	70,563,082	13,480	20	0.2
第48期	50,490,093	65,897,193	13,052	20	0.2
第49期	49,670,217	65,130,879	13,113	20	0.2
第50期	49,774,574	66,334,183	13,327	20	0.2
第51期	49,644,593	66,704,191	13,436	20	0.2
第52期	48,804,184	59,161,999	12,122	20	0.2
第53期	48,950,593	50,697,490	10,357	20	0.2
第54期	49,077,953	52,883,440	10,775	20	0.2
第55期	49,204,764	55,668,484	11,314	20	0.2
第56期	48,332,740	54,472,333	11,270	20	0.2
第57期	48,318,087	53,902,617	11,156	20	0.2
第58期	48,142,016	54,123,248	11,242	20	0.2
第59期	48,254,992	53,615,210	11,111	20	0.2
第60期	47,913,134	53,825,104	11,234	20	0.2
第61期	48,867,025	55,757,962	11,410	20	0.2
第62期	49,004,868	57,587,720	11,751	20	0.2
第63期	49,116,903	56,233,154	11,449	20	0.2
第64期	49,234,092	56,188,753	11,413	20	0.2
第65期	48,650,274	56,863,447	11,688	20	0.2
第66期	48,270,775	56,489,462	11,703	20	0.2
第67期	48,358,146	58,220,945	12,040	20	0.2
第68期	48,850,459	59,717,952	12,225	20	0.2
第69期	49,351,279	60,002,798	12,158	20	0.2
第70期	49,462,707	59,097,156	11,948	20	0.2
第71期	49,606,426	57,472,901	11,586	20	0.2

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第72期	46,450,908円	55,407,454円	11,928円	20円	0.2%
第73期	46,590,295	54,084,389	11,609	20	0.2
第74期	45,557,855	51,843,470	11,380	20	0.2
第75期	45,847,844	52,223,983	11,391	20	0.2
第76期	46,079,908	51,688,629	11,217	20	0.2
第77期	38,790,271	44,515,703	11,476	20	0.2
第78期	37,798,027	41,009,884	10,850	20	0.2
第79期	38,191,133	42,501,545	11,129	20	0.2
第80期	40,014,391	43,234,504	10,805	20	0.2
第81期	39,828,733	44,618,597	11,203	20	0.2
第82期	40,078,457	43,321,965	10,809	20	0.2
第83期	40,449,039	38,131,152	9,427	20	0.2
第84期	35,696,011	32,360,814	9,066	20	0.2
第85期	34,865,370	33,028,934	9,473	0	0.0

## ○分配金のお知らせ

	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	0円

- ◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。
- ◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◆課税上の取り扱い
  - ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
  - ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
  - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
  - ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
  - ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

## ○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	9,654円48銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

### [お 知 ら せ]

受益権の口数が投資信託約款に定められた口数を下回っており、投資信託契約を解約することが受益者にとって有利であると認められるため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。

(2022年12月22日)